

第35回有機金属化学討論会

日時 11月5日(土), 6日(日)
会場 大阪大学工学部共同講義棟
(吹田市山田丘2-1)

(交通) 阪急電車千里線終点の北千里駅(梅田駅から約35分)下車, 東へ徒歩約15分。地下鉄御堂筋線(北大阪急行と相互乗入れ)終点の千里中央駅(梅田駅から20分)からタクシーで約1,100円(10分)。

[口頭発表: 講演20分・討論5分, ポスター発表: 13時~15時]

<A会場・PA会場> [有機金属化合物の合成・反応・構造・物性]

第1日(11月5日) —(9時~12時20分)—

- A101. イソニトリルおよびホスフィンを配位子とする二核パラジウム, 白金錯体の電解合成とその反応(東邦大理・理研) ○榎瀬知明・川原健司・工藤泰子・大野正浩・小林公子・山崎博史・山本育宏
- A102. 白金およびタングステンを含む有機ヘテロ二核錯体におけるアルキル基移動(東農工大) ○遠藤勇雄・小宮三四郎
- A103. CO還元モデルとしての遷移金属ケテン錯体からのエチレングリコールの生成と機構(埼玉大工) ○宮下 晃・石塚孝宏・河野淳夫
- A104. 有機ハロゲン化合物のダブルカルボニル化反応機構—トリメチルホスフィン配位子を有するパラジウム有機錯体の合成と反応(東工大資源研) ○黄 莉・小沢文幸・山本明夫
- A105. 有機テルリドならびに芳香族テルトリハラライドとパラジウム(II)塩の反応—リガンドカブリング, クロスカブリングならびに酢酸ステルの生協(京大化研) ○植村 榮・大江浩一・高橋秀博・杉田信之
- A106. 高分子錯体の焼成による超微粒子金属分散型炭素材の合成(阪大理) ○宮永清一・安田 源・中村 晃
- A107. ロジウム-およびイリジウム-フェロセニルホスフィンピリジン錯体の構造および触媒作用(阪大基礎工) ○吉田隆治・谷 一英・龍野睦直・山懸恒明・斉藤太郎
- A108. ロジウム(I)ジチオカルバメート二酸素錯体の合成と反応性(理研・早大理工) 若槻康雄・山崎博史・間庭正弘・清水功雄

----- (13時~15時) -----

- PA101. フェニル置換アセトンジアニオンの合成と反応(阪大工) ○生島直也・野島正明・仲林成和
- PA102. α -置換アルキルリチウム化合物と一酸化炭素との反応(阪大工) ○今田幸忠・折田明浩・川崎吉包・黒沢英夫・村井真二
- PA103. 有機マグネシウム化合物とクラウンエーテルまたはポリエーテルとの錯体の構造(三重大教育・アムステルダム自由大・ユトレヒト大) ○野木健雄, ベーター R. マーキー・オットー, S. アッカーマン・フリードリッヒ ビッケルハウプト・ウィルバート J.J. スメーツ・アントニー L. スペック
- PA104. レーザー誘起蛍光法による有機金属化合物の光CVDにおける金属原子(三重大工) 佐藤晶彦・三輪昌彦○笠谷和男・佐藤博保
- PA105. フェニルトリウム・クラウンエーテル錯体と活性水素をもつ二, 三の有機化合物との反応(阪大工) ○川崎吉包・秋田浩司・黒沢英夫・村井真二
- PA106. ジカチオン性モノフェニルトリウムクラウンエーテル錯体の芳香族化合物への求電子置換反応(阪大工) ○垣内史敏・川崎吉包・黒沢英夫・村井真二

- PA107. アニオン重合によるポリシリレンの合成(東北大理) ○小島邦規・平田寛樹・坂本健吉・桜井英樹
- PA108. オクタキス(*f*-ブチルジメチルシリルオクタシラキユバン)合成と性質(群馬大工・化技研・有機合成薬品) ○松本英之・樋口浩一・永井洋一郎・後藤みどり・小池 均・直井嘉威
- PA109. ジシラン資源を原料とする機能性ポリシランの合成と機能開発(群馬大工・有機合成薬品・チッソ) 渡辺清夫○篠原俊一・工藤明広・篠原昭仁・須藤尚武・直井嘉威・古賀勲・渡辺卓朗・永井洋一郎
- PA110. 電子移動過程を含むケイ素-ケイ素結合切断反応(電通大・東北大理) ○中平竈弘・船田靖人・駒津憲雄・坂本健吉・関口 章・桜井英樹
- PA111. $^1\alpha$ -シリルエーテルの電極酸化における立体電子効果(阪市大理) ○吉田潤一・村田俊樹・前川毅志・磯江幸彦
- PA112. 低原子価VIII族遷移金属錯体(Pt^0 , Rh^I , Ir^I)とハロシランとの反応(化技研) ○山下 浩・小林敏明・林 輝幸・田中正人
- PA113. 架橋エチル基を有するイッテルビウム・トリエチルアルミニウム錯体の特異な構造と反応性(阪大理) ○山本 仁・安田 源・中村 晃・甲斐 泰・笠井暢民
- PA114. 有機金(III)錯体とアルキルリチウムからのアート型テトラアルキル金(III)錯体の生成機構(東農工大工) ○石崎泰司・小宮三四郎
- PA115. 金-酸素結合への一酸化炭素の挿入反応—シス型-ジメチル(アルコキシカルボニル)(トリフェニルホスフィン)金(III)の合成と性質(東農工大) ○石川 誠・尾崎 智・小宮三四郎
- PA116. β -メチルアリアルピルバト配位子を有する新しいチタノセン(IV)錯体の合成とその性質(相模中研) ○大谷裕之・平井憲次
- PA117. チタン-アリアル錯体の分子構造(阪大工・阪大理) ○陳 奎・甲斐 泰・笠井暢民・山本 仁・安田 源・中村 晃
- PA118. 嵩高いアルコキシ補助配位子をもつ第4, 5族遷移金属アルキルの結合と反応性(阪大理) ○巽 和行・中村 晃
- PA119. $[V(dmit)_2]^-$ アニオンを含む多次元性電導体の構造と性質(大阪工・福井工大) ○松林玄悦・秋葉和輝・田中敏夫

----- (15時~17時55分) -----

- A109. Rh錯体によるCH結合活性化とアルカン錯体中間体に関する理論的研究(分子研) ○古賀伸明・諸熊奎治
- A110. ロジウム(I)-CO₂錯体の電子状態と反応性に関する分子軌道研究(熊本大工・分子研) ○楠 茂好・古賀伸明・諸熊奎治・大久保捷
- A111. N(21), N(21)⁻およびN(21), C₆₀(III)-ピニレン結合を有するビスポルフィリン金属錯体の合成と性質(阪府大工) ○瀬田潤一郎・石丸雄大・北尾樹次郎
- A112. アルキル金属からNAD⁺モデル化合物へのカルバニオン移動反応における電子移動過程(阪大工・福井工大) ○福住俊一・北野俊明・田中敏夫
- A113. 新規カチオン性ルテニウム-BINAP錯体の合成とそれらを用いる不斉触媒反応(京大工・分子研・名大理・京大工) ○真島和志・太田哲男・野依良治・高谷秀正
- A114. dppeまたは(R,R)-diopを配位したヒドリドルテニウム(II)錯体の合成と反応(長崎大工) 平木克磨・下川芳春○瀬田吉男・大沢謙二
- A115. 二核ルテニウムテトラヒドリド架橋錯体の合成, 構造および反応(東工大資源研) ○鈴木寛治・大森秀樹・李 東煥・諸岡良彦

注: 討論会および35周年記念講演会参加登録締切 63年10月20日(木)
費用等については本号44頁参照

<A会場・PA会場>

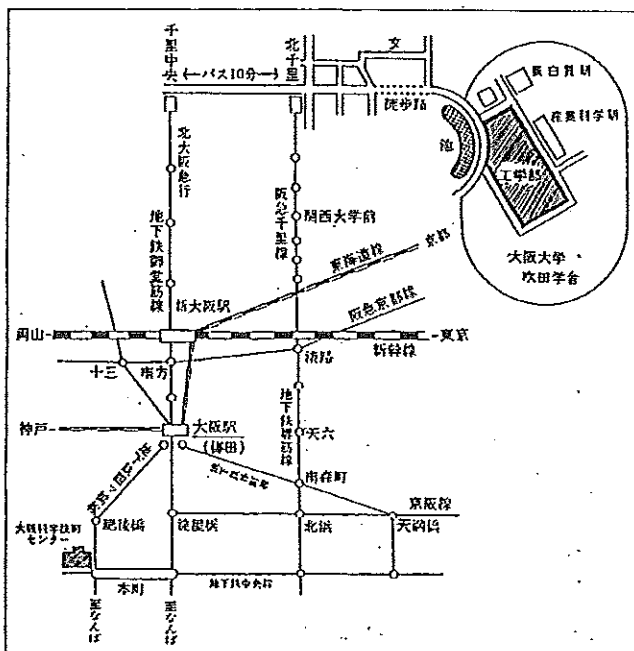
第2日(11月6日) (9時~12時20分)~

- A201. ルテニウム錯体触媒によるメタノールC-H結合活性化の機構解析(東大工・成蹊大工・分子研・東大生研) ○板垣弘昭・篠田純雄・古賀伸明・諸熊奎治・齊藤泰和
- A202. カルボニル鉄酸塩と α,β -不飽和ハロゲン化アシルならびにハロゲン化アルキルとの反応-鉄錯体上でのカルボニル化および脱カルボニル化反応(京大工) 光藤武明○石原 篤・渡部良久
- A203. 1,2,3-トリカルコゲナ[3]フェロセノファンの酸化電位における異常性-架橋カルコゲン原子の数と位置による効果(上智大理工・東大教養) ○牛島洋史・秋山武夫・梶谷正次・清水都夫・青山圭秀・増田 茂・原田義也・杉森 彰
- A204. 1,1'-位にdonorの原子を有するフェロセニル配位子のPd(BF₄)₂錯体の合成-Fe-Pd dative bondの生成(埼玉大分析セ・東邦大理) 佐藤 勝○関野雅人・赤堀慎利
- A205. 時間分解赤外吸収分光法による気相における配位不飽和鉄カルボニル(理研・NRC Canada) ○石川洋一, P.A. Hackett・D.M. Rayner
- A206. レーザーアブレーション・分子ビーム法による有機金属化合物イオンの生成反応(三重大工) 岡 正・中山眞也・笠谷和男○佐藤博保
- A207. モリブデンヒドリド錯体-プロトン酸系によるカルボニル化合物の還元反応(横浜国大工) ○伊藤 卓・鈴木文博・吉岡乾一郎
- A208. ジルコニウム-オレフィン錯体の合成とその性質(東大工・東理大・パデュエ大) 高橋 保○村上真人・国重昌克・佐分利正彦・内田安三・小沢幸三・内田登喜子・D.R. スワソン・根岸英一

----- (13時~15時) -----

- PA201. クラウンチオエーテルMo(O)窒素錯体の反応(阪府大総合科) ○吉田寿勝・安達知浩・紙中 学・上田竜雄
- PA202. MoおよびWの窒素錯体から誘導されるカルボニル錯体の構造と反応性(東大工) ○石田豊久・滑部裕司・江川由美子・棚瀬知明・松坂裕之・干綱眞信
- PA203. ビニリデン錯体を經由するシリルアセチレンのオリゴメリ化反応(東北大理) ○藤井剛章・坂本健吉・桜井英樹
- PA204. 鉄に結合したホスホネート基およびチオホスホネート基のCp環への転移反応(広大理) ○曾根 誠・中沢 浩・三吉克彦
- PA205. 複核 μ -ケテン錯体の分子構造(東工大資源研) 嵯田宗隆・諸岡良彦
- PA206. 1',1''-ジフェニルピフェロセンの合成および金属錯陰イオンを含む二核フェロセンの混合原子価錯体の合成と鉄の原子価状態(都立大理) ○甲斐雅裕・片田元巳・佐野博敏
- PA207. 1,3-プロパンジオール-1,1'-ビス(テトラメチルシクロペンタジエンル)鉄(0, 1+, および2+)の合成と構造(東北大理) ○飛田博実・幅崎浩樹・荻野 博
- PA208. Fe₂S₂およびカルボニルルテニウム錯体を触媒とする電気化学的カルボキシル化反応(阪大工・福井工大) ○田中晃二・脇田龍平・宮元 肇・田中敏夫
- PA209. ルテニウム水素錯体の合成と性質(東大工) ○青柳功・高橋 保・佐分利正彦・内田安三
- PA210. 6核ルテニウムカーバイドクラスターと有機ハロゲン化物の反応(理研) ○千原貞次・山崎博史
- PA211. 酸素分圧用キャリアーとしての新規コバルト錯体(高分子基盤技研組合) 小林芳照・今野 勲○堀内 薫・松浦洵一
- PA212. (η^2 -シクロペンタジエンル)(置換1,2-エチレンジチオライト)金属錯体(金属=Cu, Rh)とジアゾ化合物との反応(上智大理) ○桜田政美・梶谷正次・小野志津子・末次俊夫・秋山武夫・杉森 彰
- PA213. C₂対称ビスオキサゾリルピリジン-ロジウム(III)錯体の合成と反応およびケトン類の不斉ヒドロシリル化(豊橋技科大工) ○西山久雄・坂口久雄・中村高之・堀畑美保子・伊藤健児

- PA214. Vaska型ロジウム錯体の光触番作用による飽和炭化水素の脱水素反応(東大生研) 野村琴広○熊谷彦俊・牧田計志・齊藤泰和
- PA215. 2または2,5位に官能基をもつチオフェン誘導体と遷移金属錯体の反応(阪市大原研) ○小谷 供・尾野雅彦・山口英昌・椎名 教・藺頭健吉
- PA216. ステロイド π -アリルパラジウムクロライド錯体の合成と性質(立教大理・神奈川大工・日医大化・立教大理) ○堀内 昭・高山俊夫・小池芳雄・田中幹夫・棒 高士・喜治信次・佐藤泰夫
- PA217. アルコールが水素結合により会合したアルコキシニッケルおよびパラジウム錯体の合成と性質(東工大資源研) ○金 容柱・小坂田耕太郎・山本明夫
- PA218. β -(アシル)アルキル白金錯体の合成と反応(阪大工) ○柳 日馨・以倉 聖・小川昭弥・神戸宣明・園田 昇
- (15時~17時55分) -----
- A209. μ -メチレン配位子を有するチタン/白金およびパラジウム二核錯体の構造と反応性(カリフォルニア工科大) ○小沢文幸・Joon-Won Park, Peter B. Mackenzie・William P. Schaffer・Lawrence M. Henling・Robert H. Grubbs
- A210. 超原子価錯体クロロ(フェノキシ)トリオルガノスタナートおよび関連化合物の合成と構造(名大理) 鈴木正昭○孫 一煥・野依良治
- A211. フェニル置換トリゲルマンの光反応(学習院大理・理研) ○若狭正信・米田勇雄・持田邦夫・坂口喜生・林 久治
- A212. ニッケラシラシクロブテンの合成と反応(広島大工・京大工) ○大下浄治・磯村雄大・石川満夫・港 晶雄
- A213. ドナーで安定化されたビス(シリレン)鉄錯体の合成と構造(東北大理) ○上野圭司・飛田博美・荻野 博
- A214. 新規多環式ポリシランの合成と反応(花王基礎研) ○加部義夫・黒田 駿・正宗 悟
- A215. 1,2-ジリチオ[テトラキス(トリメチルシリル)]エタンの合成, 反応およびその構造(東北大有機ケイ素実験施設・東北大理) ○関口 章, 中西鉄雄・甲千寿子・桜井英樹



<B会場・PB会場> (有機金属化合物を用いた有機合成)

第1日 (11月5日) — (9時~12時20分)—

- B101. オルガノボランの化学(164)カテコールボランによるオレフィンの触媒的ハイドロボレーションとその応用(北大工)
○佐藤 淳・野木佳弘・宮浦憲夫・鈴木 章
- B102. γ 位にヘテロ原子を有する二級アリルアルコールのシャープレス不斉エポキシ化反応による高率的な速度論的光学分割(東工大工)○北野靖典・松本貴志・加藤紀弘・島崎敏幸・岡本専太郎・小林雄一・佐藤史衛
- B103. F/Pd触媒を用いるアルケニルフルオロシランと有機ハロゲン化合物の高選択的クロスカップリング反応(相模中研)
○島中康夫, 楢山為次郎
- B104. 2つのSi-H基の近接効果によるヒドロシリル化反応の異常な加速と転位反応(豊橋技科大)○永島英夫・建部和男・石橋茂徳・柳原 純・伊藤健児
- B105. ビニルシリコナート類とハロゲン化アリールおよびハロゲン化ビニルとの遷移金属触媒によるクロスカップリング反応(長崎大薬)○高良真也・富永義則・細見 彰
- B106. Pd触媒-SnCl₂系を用いるアリルアルコール類によるカルボニル化合物のアリル化反応: 溶媒和により制御されたジアステレオ選択(上智大理工)○増山芳郎・高原 潤・栗栖安彦
- B107. パラジウムあるいはトリエチルボラン触媒を用いた水素化トリブチルスズによるハロゲン化アルケニルおよびアルケニルトリフラートの還元(京大工) 武山佳裕・普神敬悟・野崎京子・一瀬佳史・三浦勝清○大高幸一郎・内本喜一朗
- B108. カルボニル化合物とアリル錫との反応-反応性および反応機構(京大理工)丸山和博○俱野善博
- (13時~15時) -----
- PB101. フェニル-1,3, 2-ジオキサボリナン骨格を含む新しい液晶化合物(阪大産研・日東化成)○松原 浩・高橋成年・瀬戸浩二・田原 薫
- PB102. オルガノボランの化学(165)アルケニルジアルコキシボランのルイス酸触媒による α,β -不飽和ケトンへの1,4-付加反応(北大工)○原 正治・鈴木 章
- PB103. アリルトリフルオロシラン/ジオール/トリアルキルアミン系を用いるアルデヒドの高選択的アリル化反応(東北大理)○佐藤一彦・吉良満夫・桜井英樹
- PB104. 14族有機金属化合物を用いる電子不足型アルケンへの光アリル化および光シリル化反応(阪府大工) 水野一彦○中西和久・帖佐淳一・大辻吉男
- PB105. パラジウム触媒を用いる β -エトキシビニルスズとハロゲン化合物との反応(群馬大工)○小杉正純・原田三郎・日高壽恵・佐野 寛・右田俊彦
- PB106. 炭素-スズ結合のプロトン誘起開裂を経る新しいO-キノジメタン発生活法(群馬大工)○佐野 寛・小島 豊・神戸洋起・高橋治樹・浅見高志・岡村桂子・右田俊彦
- PB107. β -トリクロロスタニルケトンおよびアルデヒドの有機金属試薬に対する反応性(阪大工)○中村博之・柳 日繁・小川昭弥・神戸宣明・園田 昇
- PB108. Pd触媒-SnCl₂系を用いるアリルアルコール類によるカルボニル化合物のアリル化反応:¹Hおよび¹³C NMRによる検証(上智大理工) 増山芳郎○高原 潤・栗栖安彦
- PB109. 有機スズリン酸塩触媒を用いるオキシランの立体特異的開環反応(岡山理大)○新保喜久・大寺純蔵・野崎 一
- PB110. 有機スズヒドリド-ホスフィンオキシド複合系によるアルデヒドの還元反応(阪大工)○芝田育也・馬場章夫・松田治和
- PB111. テトラフェニルスチボニウムトリフラートを触媒としたオキシランとアミンとの選択的反応(阪大工)○藤原正浩・今田 真・馬場章夫・松田治和
- PB112. 銀(I)触媒による2段階連続不斉変換反応(鳥取大工)○安井 勝・生瀬真一郎・指輪仁之・斎本博之・重政好弘

- PB113. 有機銅反応剤による5-アセトキシ-1,3-アルカジエンの立体選択的アルキル化反応-内部共役(E, E)-ジエンの合成(京大工・京大教養) 中西直明・松原誠二郎・内本喜一朗○児嶋真平
- PB114. 有機銅-ルイス酸試薬を用いた1,3-不斉転位による高光学純度キラル炭素の高効率的合成(京大薬・東北大理)○井深俊郎・田中みわ・西井真二・山本嘉則
- PB115. 二成分連続法によるプロスタグランジン類の実用的合成法(東工大工)○岡本専太郎・小林雄一・佐藤史衛
- PB116. 有機銅試薬とハロゲン化アリルのS_N2'反応における高度の1,2-不斉誘導(東工大理工) 関屋浩一○荒井雅之・青木敏・中村栄一
- PB117. チエナマイシンおよび関連抗生物質の光学活性前駆体高立体的選択合成(山口大理)○大川陽子・小国信樹
- PB118. 亜鉛アート型カルベイドを経由するgem-2置換シクロプロパンの立体選択的合成(京工繊大工芸) 奥 彬○勝平 健・原田俊郎

----- (15時~17時55分) -----

- B109. アリルスズと求電子反応剤の反応における立体化学とその機構(東北大理)○マーチン シュミット・斉藤研一・山本嘉則
- B110. パラジウム触媒を用いるN-置換イミドイルクロリド誘導体の新反応-カルボニル等価体としての合成化学的利用(京大工)○井上将彦・村上正浩・伊藤嘉彦
- B111. IVB族元素を含むアルケニルメタン化合物とアリールパラジウム種の反応(熊本工大・近大九州工・九大工)○池永和敏・松本 哲・菊川 清・松田 勲
- B112. 低次有機銅アート錯体の反応におけるBF₃・OEt₂の役割(カリフォルニア大)○ブルース H. リブシュッツ・エドモンド L. エルスワース・テルナ J. シアハーン
- B113. α 位に水素を有する α -シロキシ(あるいはアルコキシ)アルジミンへの有機金属試薬の付加反応による α -アミノアルコールの立体選択的合成(広大理)○和田 真・藪田勝典・秋葉欣哉
- B114. 活性ハロゲン化合物を前駆体とする新しい銅-カルベノイド生成反応(長岡技科大)○手塚育志・橋本晃男・今井清和
- B115. Naphthalene-Cr(CO)₃錯体触媒による共役ジエンの異性化反応-芳香環置換オレフィンの立体制御(北大薬)○袖岡幹子・佐藤正次・柴崎正勝

<B会場・PB会場>

第2日(11月6日) —(9時~12時20分)—

B201. 亜鉛ニトリル・エステル・ α -アミノ酸のマイケル付加反応(京大工) 田丸良直○谷川博人・吉田善一

B202. ジエチル亜鉛の種々のアルデヒドへの触媒的不斉付加反応における不斉増幅現象(山口大理) 小国信樹○林 昌彦・金子俊幸・大橋和義

B203. パラジウム触媒による α -ケトホスホネートの脱カルボニル化反応とメタセシス反応(広島大理) ○中沢 浩・松岡裕子・三吉克彦

B204. プタジエンテトラマーの環化カルボニル化(東工大工) 宮沢真宏・寺門正彦・村井浩也○山本経二

B205. パラジウム触媒を用いるアリルエステルのカルボニル化反応— β , γ -不飽和酸エステルの選択的合成法(阪大基礎工) 村橋俊一・今田泰嗣○谷口裕樹・東浦真哉

B206. ニッケル触媒を用いる[5]クムレン(ヘキサペンタエン)の環状二量化反応(阪大理) ○伊与田正彦・梶谷善之・小田雅司

B207. ゼロ価ニッケル錯体触媒によるジインとカルボニル化合物の環化付加反応—ジインとアルデヒドの環化付加による双環 α -ピラン合成(京大工) 津田鉄男○清位孝夫・三枝武夫

B208. コバルト触媒を用いた水性ガスシフト条件下での芳香族アセチレン化合物のガルボニル化反応—インダノンの選択的合成(阪大産研・積水総研) ○土山和夫・藤原啓介・城崇・前島一夫・高橋成年

----- (13時~15時) -----

P B201. ランタノイド金属存在下ジョードメタンと各種有機金属化合物との反応(千葉大理) ○今本恒雄・神谷靖雄・金子晴美・横山正孝

P B202. RnX 型錯体(Ln =ランタノイド)を用いた有機合成(静岡大工) ○住本典史・福沢信一・藤波達雄・酒井鎮美

P B203. ランタノイド金属によりアンボールされた芳香族ケトンを利用する有機合成(九大工) ○高峯 寛・高地達也・侯 召民・藤原祐三・谷口 宏

P B204. ケイ素架橋メタロセン誘導体を触媒とするプロピレンの重合反応(理研・チッソ石化) ○三郷孝也・青木克之・山崎博史・吉村 啓・宮 新也

P B205. Coおよび N_2 をアミドユニット源としたラクトム環の構築(北大薬) ○魚住泰広・森 英子・森美和子・柴崎正勝

P B206. ジルコノセン錯体を触媒とするシクロヘキサノン類とアルデヒド類からの2,6-置換アルキルフェノールの新規一段合成(関大工) 中野達也○白井秀樹・玉川博詞・石井康敬

P B207. オキソバナジウム化合物による酸化的変換反応(阪大工) 平尾俊一○森 真人・大城芳樹

P B207. α -ハロアリルクロム反応剤のアルデヒドへの立体選択的な付加反応(京大工) 片岡靖隆○高井和彦・内本喜一郎

P B209. (η^3 -アリル)Fe(CO)₂NO錯体の反応におけるレギオおよび立体選択性(阪府高専・阪府大工) ○伊藤諒二・中西三郎・大辻吉男

P B210. ルテニウム触媒を用いるニトリルおよび炭化水素の*t*-BuOOH酸化(阪大基礎工) 村橋俊一・直田 健○桑原稔之

P B211. 塩化コバルト(II)を用いる芳香族ハロゲン化合物の常圧カルボニル化反応(阪大工) 三浦雅博○伊藤健司・野村正勝

P B212. 改良型DIOP-Rh錯体を触媒とするイタコン酸類の不斉水素化(静岡県大薬) ○森本俊明・千葉三男・阿知波一雄

P B213. ニッケル(O)錯体によるエンインとイソニトリルとの環化反応(京大工・京大薬) 玉尾皓平○小林健二・高橋真一・伊藤嘉彦・多賀 徹

P B214. パラジウム触媒を用いる2,4-ジプロモアニソールのアルコキシ支配モノアルキル化反応(京薬大) ○港 晶雄・小笹 茂

P B215. パラジウム触媒を利用する α -ケト酸およびエステルの合成(早大理工) ○大島正人・碓田俊之・清水功雄

P B216. 光学活性フェロセニルホスフィン-パラジウム触媒を用いた不斉アリル化反応の機構(京大工) ○山本晃弘・林 民生・伊藤嘉彦

P B217. パラジウム錯体を触媒に用いるアリールアゾキシアリルスルホンによるアルケンのアリール化反応(都立大理) ○福島隆正・亀山雅之・上方寛政

P B218. パラジウム触媒を用いたシロキシシクロプロパンのアシル化の反応機構(東工大理) ○藤村 努・青木 敏・中村栄一・桑島 功

P B219. パラジウム触媒を用いたシクロカルボニル化反応による複素環化合物の合成(東大工) ○岩崎政和・小林養浩・李 慧平・松坂裕之・石井洋一・干綱眞信

P B220. 遷移金属錯体触媒を用いるヨウ化アルキルの常圧常圧カルボニル反応—光および電気カルボニル化反応(京大工) ○近藤輝幸・辻 康之・渡部良久

----- (15時~17時30分) -----

B209. ヘルフルオロアルキル置換オレフィンおよびヨージド類のカルボニル化反応における位置選択性(相模中研) ○瀨上高正・浦田尚男・木下喜博・小助川修

B210. 単一触媒による連続した異なる反応—コバルトカルボニルを用いる*N*-アシル- α ミ酸類のワンポット合成(味の素中研) ○浅田昌一・井沢裕之・稲山 隆・井沢邦輔

B211. MoおよびW窒素錯体を用いた分子状窒素からの触媒的シリルアミン合成(東大工) ○織作恵子・尾下博幸・溝部裕司・干綱眞信

B212. *p*-dimethylamino基をもつBPPM類錯体-Rh錯体を触媒とするイタコン酸誘導体の不斉水素化(静岡県大薬) ○井口 潔・森本俊明・阿知波一雄

B213. RhCl(CO)(PR₃)₂光系によるアルカンの常圧脱水素(化技研) ○坂倉俊康・袖山 亨・田中正人

B214. Rh₄(CO)₁₂を触媒とするアセチレン類のシリルホルミル化—アセチレン内置換基の影響(名大工) ○松田 勇・小木曾章・佐藤 進・泉 有亮